

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業期間も残り1週間となりました。お子さんはどのように過ごしているでしょうか。

先日、一年生の女の子から担任宛にかわいらしい手紙が届き、それを家で書いている子供の姿や気持ちを想像しました。また、用事で、ある家庭を尋ねた際には、留守番をしている二年生の男の子が私を丁寧に迎えてくれました。おやつ作りをして、それを担任の先生に届けてくださった親子の姿もありました。「子供なりにがんばっている」「保護者の方も大変な中、工夫してくださっている」と感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。

学校では、先生方が卒業式や終わりの会など、年度末のまとめや引継の準備を行っています。また、新年度の学校再開に向けての準備を整えているところです。

臨時休業後も春休みになることで、学校教育から遠ざかる期間が長くなることを心配されていると察します。文部科学省始め各種 web サイトでは臨時休業中の家庭学習支援も用意されていますので、ご参照ください。また、読書の時間を確保するなど、言語（文字、文章）から離れた生活にならないように御留意ください。

「学びの原点は生活にある」という言葉があります。これは本校のふるさと科のねらいにも通じます。家庭生活の中で、子供の気付きや疑問を生かして本や web 等で追求することで、教科の学びとのつながりに気付いたり、学びの実感をもったりするきっかけが得られます。教科は生活の中から生まれてきた固有の文化です。今回の家庭生活が、学習教材だけでなく生活教材にも取り組める機会になることを願っています。

取りかかりやすいのは、『お手伝い』ではないかと思います。子供は「任されている」「信頼されている」と実感したとき、注意を払いながら自ら行動しようとし、そして、感謝の言葉で勇気づけられ、さらに工夫しようとし、お手伝いをする中での気付きや疑問などを追求するようなきっかけになるかもしれません。

もちろん、大前提に感染の防止、健康・安全の確保がありますので、発達の段階に合わせ保護者の方の適切な支援が必要となることは言うまでもありません。

また、今回の家庭生活が、いわゆる「ゲームの達人」になるための時間ではなく、御家族と本人がゲームとのかかわりに向き合う時間にもしていただければと思います。

新型コロナウイルス感染症への対応は、今や日本だけでなく各国においても対策が必要とされています。今後の見通しももてない現状がありますが、『明けない夜はない、やまない雨はない』と信じ、自分にできることをしていきたいと思います。

長くなりましたが、学校では市教委の指導を受け、御家庭との連携のもと、今後の教育活動の安全・安心な実施について検討を重ねて参りますので御理解いただければと思います。

なお、休業中のお子さんのことについて相談がありましたら、遠慮なく担任まで御連絡ください。

3月12日

相良小学校長 織田澄夫